



じかつだより



NO.1

令和8年9月16日

豊田市立豊田特別支援学校

2026年 フール学習

プールでは水の性質を活用し、
身体の動きや健康の維持などを目的に学習をすすめています。



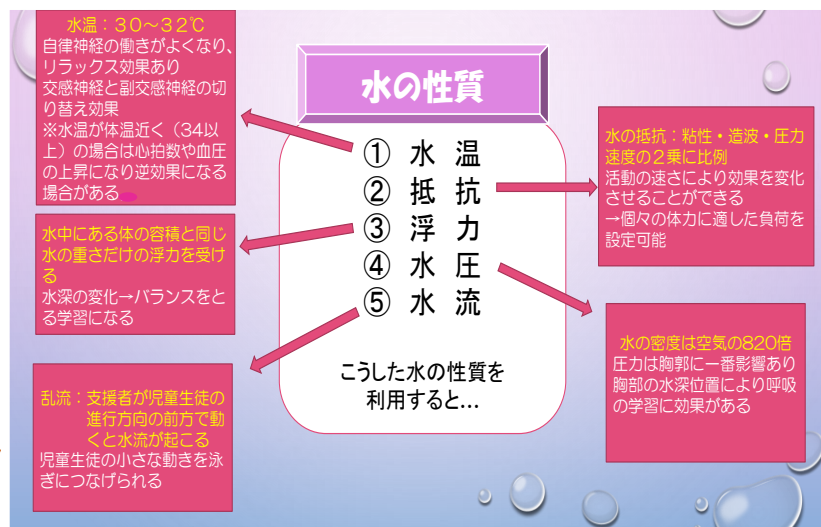
陸上で歩く際は不安定であっても、プール内では一人で歩けたり、浮き具を活用すれば体を浮かせたりすることが簡単にできます。

また、水の流れに乗れば体が自然に水中を動いてくれます。

可能な限り手足を動かせば、更に体は進んでいきます。自分で自分の身体を動かすことができ、達成感や満足感を感じることができます。

また、先生と一緒に安心感を得ながら活動することで、体にギュッと力が入っていても、徐々に呼吸が楽になり、力を抜いてリラクゼーションすることができます。

「気持ちいい・・・」「できた!」「もっと動きたい」などの意欲が生まれ、「またやりたい」「今度はこうしてみよう」など、更なる心の成長にもつながります。



水と一緒に
楽しく学ぼう!

夏季休業中の職員研修の紹介

講 師：愛知県三河青い鳥医療療育センター理学療法士 高橋秀平先生
テーマ：「理学療法領域との連携」

7月28日に行いました。PTの先生とは「姿勢の運動の専門職」として互いの立場の違いを理解し、それぞれの専門性を生かしてお子さんがよりよい生活をしていくというゴールを目指していく関係でありたい。指導方法に唯一の正解が存在するわけではないこと、生活を変えることで機能が変わっていくこともあり得ること、子どもの人権を大切にしながら医学と社会の両面から子どもを支え、子どもと共に試行錯誤を重ねていくという講義でした。

講 師：瀬戸市立瀬戸特別支援学校 八重澤直樹先生
テーマ：「自立活動の基本的なアプローチについて」

座位、側が位でのアプローチの方法とともに、体を動かすことを通して子どもと関わる基本的な考え方について豊田市小中学校を含む教員60名が受講しました。

仰が位で呼吸の安定を図り、手のひらで心や体を受け止めること、子どもの主体的な意欲、動きを引き出すために手のひらで感じ、誘って導くこと、そして待つことの大切さを再確認できる講義、実技でした。



ICT機器を活用して自立活動に取り組んでいます！

今回の使用器具 (写真1)
なんでもワイヤレス (写真1)
ジョグルスイッチ (写真2)



本校では、さまざまなICT機器を活用して自立活動を行っています。

今回はAさんの自立活動の様子を紹介します。

対象児童A 活動をする際に、左手を多く使う児童

今回のねらい 右手を使って活動をする

授業の様子



プレゼンテーションソフトに児童の興味のある絵本を貼り、Aさんがジョグルスイッチを押すと、本のページがめくれるようにしました。Aさんはボタンに興味をもち、自分からボタンを押そうと手を伸ばすことができました。ボタンを押すと絵本が次のページに行くことが分かり、画面を見ながらボタンを押す回数が増えました。ジョグルスイッチを右側に置くことで、自然と右手を伸ばすようになり、右手を使って活動することができています。